



「見つけよう」

夏休みが終わって3週間、生徒たちが元気に学校生活を送っていることにほっと胸をなでおろしています。これから修学旅行、職場体験学習、地区新人大会などを控え、ようやく始まる本格的な学校行事に向けて暑さにも負けず取り組んでいる姿はとても頼もしく見えます。

さて、タイトルの「見つけよう」これは、生徒会が呼びかけて有志を募り、いじめCMコンクールに応募した作品のタイトルです。まだ全校生徒には披露していませんが、いじめを未然に防ぐために、仲間の良さを見つけ、互いに優しく声を掛け合っていこうという内容です。生徒たちがいじめ問題を自分事として考え、解決策を探り発信していくすばらしい取組です。CMづくりに携わった皆さんは、先を見据えた大切な提案をしてくれましたと思っています。というのも、新型コロナウイルス感染症に伴う差別やいじめのニュースが未だに新聞やテレビで取り上げられています。また、保護者の方も読んでいただいたことと思いますが、差別・偏見の防止に向け文部科学大臣から生徒や保護者の方へメッセージが送られるなど深刻な問題になっています。

いじめが社会問題として取り上げられてから、もうすでに30年以上になります。この間多くの不幸な出来事があり、様々な取り組みがなされてきました。平成25年、大津市の事件をきっかけに、国は「いじめ防止対策推進法」を作りました。つまり、法律でいじめはだめだと決めたのです。それでもなお、いじめは無くなることはありませんでした。私たち教職員は、いじめはどこの学校でも起こりうることと捉え、未然防止やいじめ被害を見逃すことがないよう基本方針を定め取り組んできました。そして今、新たに新型コロナウイルス感染に関する問題も加わってきたのです。

1学期の終業式で生徒たちに、「感染のリスクは誰にもあります。『自分がされて嫌なことは人にしない。』小さい頃から教えられてきたことです。感染した人が治療に専念でき、治療を終えて戻ったとき、優しく迎えられる学校でなければなりません。一人一人がお互いを思いやる気持ちをもって冷静に行動していきましょう。感染者が身近にいない今だからこそ人としてどうあるべきか真剣に考えてください。」と話しました。

よく「コロナに負けない」という言葉を耳にすることがありますが、この言葉の意味は、感染しないことではなく、コロナによって、昨日まで普通に話したり、遊んでいたのに、感染した途端、その感染した人を非難したり、いじめたり、無視したりするなど、人としての優しさ、思いやりを失うような言動をしないことが「負けないこと」だと私は考えています。

階上中学校の生徒には、どのようなときでも、優しさ、思いやりを持って生活してくれることを期待しながら、私たち教職員は生徒たちにコロナに負けない心を育てていきたいと考えています。そして、コロナに限らず、生徒同士そして教師も、生徒個々の良さを見つけ、伝えられる環境を「見つけよう」を合い言葉につくっていきたくて考えています。



9月2日（水）に階上地区青少年育成協議会主催で教育研修会を行いました。研修会の様子を本校のホームページ「日誌」でご紹介いたしましたが、講話の内容をダイジェストでお伝えします。

演題 「新型コロナウイルス感染症 ～現状と今後の対応～」

講師 東北大学大学院 助教 吉田 眞紀子 先生

接触感染

ウイルスが付着した手指で鼻や口や目に触れることで、粘膜などを通してウイルスが体内に入り感染することです

どうやって

感染するの？

飛沫感染

◎学校では教室、廊下の換気を常時行っています。
◎校舎内をベンザルコニウム塩化物液で消毒（拭き掃除）をしています。

3つの対策

対策1 咳エチケットを守りましょう

対策2 環境消毒・換気に努めましょう

対策3 手洗い・手指消毒をしましょう

◎咳やくしゃみをするときは、ハンカチ等で口や鼻を覆い、他人から顔をそむけ、1メートル以上離れましょう。

◎アルコールを用いた手指の消毒方法を講師の方からアドバイスをいただきました。下図をご覧ください。

ポンプの底まで押します。



1 消毒液3mlを手のひらに取ります。

溢れそうになる位です。



2 手のひらによくすりこみます。



3 手の甲にもすりこんでください。



4 次に指先にすりこみます。



5 親指にもすりこみます。



乾燥するまですりこみます。

6 最後に手首も忘れずにすりこみます。

「守り合い」の気持ちを大切に… 自分を守ること、相手を守ること

保護者の皆様へ 「地区新人大会 無観客での開催について」(お願い)

今年度の気仙沼・本吉地区中体連新人大会の開催については、8月6日付けの文書でお知らせしておりました。さて、開催方法等について、本吉地区中学校長会並びに地区中学校体育連盟で協議してまいりましたが、今年度は感染症拡大防止の観点から、全ての競技を無観客で開催することとなりました。保護者の皆様には何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。大会に関する詳細については、改めて各部活動担当よりお知らせいたします。なお、大会当日、お子様のけがや体調によっては、競技の途中でも、ご家庭に連絡を入れさせていただくこともあるかもしれませんので、保護者の方と連絡がとれるよう重ねてお願いいたします。